

日本聖公会

大阪教区報



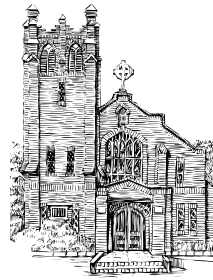
芦屋聖マルコ教会



尼崎聖ステパノ教会



石橋聖トマス教会



主教座聖堂 川口基督教会

日本聖公会
大阪教区総務局

〒545-0053

大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8

TEL 06-6621-2179

FAX 06-6621-3097

osakakoho2022@gmail.com

発行責任者
総務局長 司祭 柳 時京

+++++ 第517号 2024年2月20日発行 +++++

「このことを心がけなさい」

司祭 ステパノ 柳^ゆ 時^し 京^{ぎょう}

年が変わって新しい気持ちで新年を迎えました。ところで、毎年行われるわけではありませんが、教区と教会に数年に一度の人事異動というのがあり、そういう時に迎える新年は、いつもと違って慌ただしい気持ちと緊張の連続になります。まさに、2024年の新年は私にとってそのような緊張の時間になりました。

昨年11月の教区会を終えた後、教区主教より教区の総務局長職を遂行してほしいというご指名を受けました。当時の私は、十分に前後の事情を考慮することもなく即答で「かしこまりました」と答えましたが、実はそれから心配事が一つずつ浮かぶ日々になりました。まだ大阪教区に来て4年ちよつとであること、教区の全貌を把握することもできていない状態なのに、私が総務局長という重責に耐え

ることができのだろうか？また、牧師としてつとめている川口基督教会のこれからを考えると、教会の働きに、とりわけ牧会にもつと忠実であるべきなのに、さらに教区の仕事まで引き受けるのが妥当なのか？その上に昨年5月から



は聖ヨハネ教会の管理牧師にもなっているのに、果たして私が大過なくうまくこの職務を遂行できるだろうか？などと自分に問いかけました。

あれこれ考えているうちに、30年ほど前に初めて教会の現場に派遣された時、ある

先輩の司祭から聞いた話を思い出しました。次のような話です。

聖職者の人事異動で、ある司祭が数年間働いていた地方の教会を離任することになり

ました。いよいよ最後の礼拝を終えて信徒の皆様にお別れの挨拶をしました。「神様の

お導きで今まで無事に過ごすことが出来たことに感謝しま

す。また、信徒の皆様、これまで大変お世話になりました。足り

ない私をよく理解してくださって、幸せな教会生活

をしました。これから来週より他の司祭様がいらつしや

ると思いますが、きっと私より優れた方で、仕事もお上手

に出来ることと思います。ですので、何もご心配はしないで

ください。すると、一番前の列に座っていた年配の女

性信徒の一人が大声で言いました。「あのー、司祭様、嘘

をつかないでください。この前の司祭もそのようにおっ

しゃっていました。しかし、実はそうではありませんでした。

違いましたよ。」

この笑えない笑い話を実話なのか、もしかしたらその先輩の司祭が直接経験された話

なのかは分かりませんが、その先輩はこの話を通じて私に人事異動に臨む聖職者の心構えを教えてくださいました。

それ以来、私は人事異動の際に次の聖書の言葉を肝に銘じて参りました。「何事も利

己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに

相手を自分よりも優れた者と

考えなさい。めいめい、自分のことだけでなく、他人のこ

とも注意を払いなさい。互いにこのことを心がけなさい。

それはキリスト・イエスにも見られるものです。」

(フィリピの信徒への手紙 2:3-5、聖書協会共同訳)

これからも、前任者の働きに感謝しながら、仕事を引き

継いで、イエス様に倣って、よりよい働きが出来ますよう

にお祈りいたします。

(川口基督教会牧師、大阪聖ヨハネ教会管理牧師、総務局長)

大阪教区報は2024年より隔月連載になりました。またそれに伴い一部60円と値段が変ります。皆様のご理解とご協力をお願い致します。



宣教協議会を振り返って

去る2023年11月10日

(金)から13日(月)まで、

山梨県清里の清泉寮で日本聖公会宣教協議会が開催されました。宣教協議会は1995年そして2012年に開催されておき、今回で二回目です。1995年の宣教協議会では日本聖公会の戦責告白が出されました。この戦責告白は翌年の管区総会で採択決議がなされています。2012年には「日本聖公会へ宣教・牧会の十年」提言が出され、植松誠(まこと)首座主教(当時)の呼びかけで十年後に宣教・牧会の実現を持ち寄ることとなりました。今回の宣教協議会はその呼びかけに応じる形で開催された側面もあったようです。

今回の宣教協議会のテーマは「いのち、尊厳限りないもの」となりびととなるために「12年のテーマを踏襲していただきますので、今回の重点は「となりびととなるために」にあると言えます。そして実行委員会はこの宣教協議会で「聴くこと」と「対話すること」を大切にしよう参加者に呼

びかけました。

「他の人に対して敬意を払い、お互いの考えかたの違いを尊重しましょう」とや「多様な人がいることを意識し、ジェンダー、年齢、立場、地域性などの違いに敏感になりましょう」との呼びかけ・注意事項がなされました。とても当たり前の呼びかけ・注意事項ではありますが、昨今の社会で軽視されがちな事柄と言えます。

大阪からの参加者は、磯崎久主教(実行委員長)、小林司祭、古澤司祭、成岡司祭(実行委員会)、千松司祭、寒河江研司さん、篠田茜さん、内海紗英子さん、中尾由紀子さん、薦田久美子神学生、呉光現さん(聖公会生野センター)で、このような姿勢で4日間を過ごしました。

宣教協議会で感じたことや教会の方々には知らせたいこと
篠田 茜

宣教協議会に大阪教区のメンバーとしての参加が決まったとき、これは大変、教区に持って帰れるものを期間中に

見つけられるだろうか、ほかにもっとふさわしい人がいるのではという思いが何よりも強かったです。それでもメンバーのみなさんと大阪教区のブースの準備などをする中で、少しずつ前向きな気持ちになってきました。

この協議会は、バイブルシェアリングや礼拝、主教会からのメッセージを挟みながら、さまざまな現場からの報告とその分かち合いを中心に組み立てられており、その中から、宣教協働区も含むこれからの日本聖公会の歩む方向を確認するという趣旨だったと思います。

3つのことが「得たもの」として今に残っています。

一つ目は、信徒数が少なく、地理的にも中心部ではなく、定住する牧師のいない3つの教会の物語です。一見寂しいように見えますが、「教会が一番落ち着く場所」「(教会は)教会のために自分にもできることがあることに喜びを感じ、元氣になれる場所」と信徒のみなさんは言われます。「誰にも頼ることができないから自分がなくては」と意識が変えられ、その姿を見ている家族や近隣の人々が力を貸してくれるようになったこ

とが語られました。また自分の教会だけでなく教区のことにも関心を持ち、他教区の教会と「祈りのパートナーシップ教会」という関係を結んでいることも印象的でした。

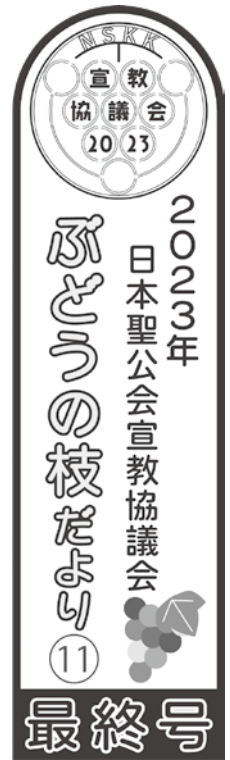
今回どのような状況の教会は、決して少なくないと思います。「教会に行けばやることがある」「ほかの教会の人たちと交わる」ことが喜びとなる教会は、神さまに喜ばれる教会ではないでしょうか。

二つ目は、幼児教育、信仰とセクシュアリティ、カルト、傾聴と和解、教会の社会活動の5つの現場からのお話しを聴いたあとの、上記の物語も併せての分かち合いの時間です。初対面の方も含め信徒、聖職者、男性、女性と入り混じった7人のグループで2日目と3日目に分かち合いをしました。それぞれに教会の現状、自分の教会での働き、恵みに思っていることから、牧師の働き方や信徒、聖職者それぞれの悩みなどが語られました。たぶんどれもがつかうていて切り離せないことです。日本聖公会の未来は明るいと言っているには躊躇せざるを得ない状態であるにも関わらず、わたしたちはまだお互いの物語や、3つの教会と5

人の方のお話しから、励ましと気づきを得たと語ることができていることに、信仰を同じくしていることの不思議さと温かさ、信頼を感じる時間でした。

三つ目は、4人部屋での滞在になったことです。基本的に参加者は複数人の部屋であつたようですが、2人は初めて会う他教区の方でした。この協議会で出会わなければ、たぶんほぼ出会うことがなかった方たちとの出会いは、わたしにとつては忘れがたく、もしもそれぞれの教区に行くことがあれば、その方たちの教会にぜひ行ってみたいと思わされるものでした。

教区に持ち帰れるものは何かと考えると、3日目の分かち合いのテーマとなった「2012年の宣教協議会での提言も含めこの10年間に応答できなかったものは何か」を踏まえての「神の招きにどう応えていくか」への返事になると思います。教会、教区、管区で「神と人に仕える」ことが負担ではなく喜びとなる一人ひとりの働き方を構築することを、返事のひとつにしたいと思います。具体的には、協議会での3つの教会と5人の方の物語から得られるもの



11月10日(金)〜13日(月)までの日程で、清泉寮にて、2023年日本聖公会宣教協議会が開催されました。各教区から、また管区諸委員会から信徒と聖職132人が集まり、「いのち、尊厳限らないもの」となりびととなるために」をテーマとして、日本聖公会のこれまでとこれからについて分かち合い、話し合いました。ここでは速報としてその概略を記します。

「実り持ち寄りブースの紹介」。このプログラムでは、前回の宣教協議会から現在までの各教区や管区諸委員会の働きにおいてどのような実りがあったのか、また現在の課題は何かをブースの展示を通して分かち合いました。各ブースから多くの実りの報告がありました。中には、解決していない課題もまた実りの一つとして大切に扱おうとするブースもありました。

「私たちのあゆみ」物語を聴く。3つの教会の信徒の皆さんのお話をお聴きしました(録画映像を視聴しました)。3つの教会は信徒数の

少ない教会ですが、それぞれの教会で豊かな信仰生活が営まれていることが分かち合われました。

「いのちの現場から聴く」。5人の語り手の皆さんから、「となりびと」と出会い(あるいは当事者として仲間とともに歩み始め)、今も一緒に歩み続けている物語をお聴きしました。お一人おひとりのお話、それぞれに心に深く残るものでした。その後語り手ごとに5つの分科会に分かれ、さらに分かち合いの時を持ちました。

「主教会からのメッセージ」。「宣教協働区アワー」。武藤謙一(むとうけんいち)首座主教から、宣教協働区・伝道教区制導入の経緯についてお話がありました。また他の主教からは、「この世界の中で『となりびと』となるために大切にしたいこと」、「この世界における宣教・牧会で大切にしたいこと」、「宣教協働・教区再編において大切にしたいこと」という3つのテーマでお話がありました。その後、各宣教協働区グループに分かれて交わりの時を過

ごしました。

2回にわたる「グループシェアリング」では、小グループに分かれ、前半は、それまでのプログラムの感想を述べ合い、後半は、最終日の「2023年宣教協議会からの呼びかけ」作成に向け、「私たちが、神様の招きに対して応答できなかったことは何か」、「私たちは、招きにどう応えていくか」が話し合われました。その後、グループごとの発表を全体で分かち合いました。

最終日に、ドラフトコミットイメンバーによる「呼びかけ」案をもとに意見交換が行われましたが、時間内では収まらず、その場で最終的なものにまとめることは難しいとの結論となりました。「呼びかけ」はドラフトコミットイメンバーが改めて案を作り、参加者の合意のもとに正式なものとして出される予定です。

宣教協議会の録画映像は、「日本聖公会宣教協議会プログラム」から現在でも視聴可能です。ぜひご覧いただき、日本聖公会のこれからについて、皆さんとご一緒に考えていければと思います。

(文責: 司祭 北澤 洋)



日本聖公会大阪教区婦人会 2024年被献日礼拝
大阪教区婦人会書記 サラ 若山 陽子



説教者のウイルソン司祭

2月2日(金) 午前10時30分より2024年被献日礼拝。聖餐式が西宮聖ペテロ教会にて行われました。

被献日献金のはじまりと目的 1926年(大正15年)、日本聖公会婦人会は第7回日本聖公会婦人補助会大会で2月2日の被献日を「創立記念日」と決めました。

そして各地方部婦人補助会で記念聖餐式を行いその信施金を中央本部に積み立てて「婦人献身者」のために用いることが決まり、これを「被献日献金」と呼ぶことにしました。

また、会員自らが主体性に学び育つことをめざし、会員以外の教会に連なる人、教役者の学習希望の申請を受け、直接顔の見える支援の展開をすることを目的としています。

当日は気温が上がらず寒い一日となりましたが、コロナ感染症による人数の制限が外れ、沢山の方がお見えになり、久しくお会いできていなかった人々との懐かしい会話も弾みました。直接会って笑顔で挨拶を交わす大切さを実感した一日でもありました。

司式は磯崎久主教、説教はウイルソンウォーレン司祭、補式はマルチン韓相敦司祭、内田望司祭(大阪教区婦人会チャプレン) 教役者8人を含む105人の出席者でした。

当日の信施金198,625円は日本聖公会婦人会被献日献金のためにお献げします。

1月1日に発生した能登半島地震への募金89,595円は管区に送金し被災地へ届ける手配をいたします。

各教会婦人会の皆様、準備に携われたすべての方々のご協力に感謝申し上げます。

(西宮聖ペテロ教会信徒)

第138回祈りと証しの会に参加して

イサク 豊川 雅章

高槻聖マリヤ教会のハンナ井上恵美子さんを証し人にお招きして、2023年12月11日夕刻より大阪聖パウロ教会で開催された。

これまで婦人会の活動を、知る機会が余り無かったので、日本聖公会婦人会会長・大阪教区婦人会会長を担われた井上さんの証しを楽しみに参加した。

井上さんは、大阪聖三一教会の信徒家庭に育たれ、愛の園ワークキャンプで活躍された世代であった。またGSFのアメリカ大会も経験をされた。結婚後は高槻市に生まれて、高槻聖マリヤ教会に転籍し、婦人会等でご奉仕を続けられた。その後、教区婦人会、教区婦人会会長へと導かれた。教区婦人会の活動として、



ヨハネ学園ミス・ブルルの喫茶奉仕や愛の園の布おむつ作成の奉仕活動などを紹介くださった。喫茶奉仕は、利用者の方との会話がとても楽しく、担当教会で無い時にも出向いた時もあったとか。また布おむつは、どなたが使用するか解らないけれども利用者が使いやすいように、一枚一枚に思いを込めて作成し、神愛会愛の園に送られたと話された。

大阪教区婦人会成立100周年については、初期の婦人会総会の集合写真や、資料を用いて婦人会活動の歴史を説明くださった。教区婦人会は設立時に、被献日に礼拝する・感謝箱献金すること等を決議された。婦人会は100年前に決まったことを今も継続されている。そして集められた感謝箱献金は、世界各地に送られ用いられている。男子会活動は、単発の打ち上げ花火と良く言われた。本当に頭が下がる思いである。最後に寒河江研司連合男子

会会長が、小学生の頃、大阪聖三一教会のクリスマス会に参加し、井上さんから「これからの教会に来るのよ」と言われ鉛筆のプレゼントを頂いた。そして「今も約束を守っています」と挨拶された。ここにも信仰の継承を見た。当日の献金28,180円は、横浜教区のベタニア・ホーム大規模改修のためささげられた。腰を痛めておられたにも関わらず、証しくださいました井上さんと、これまでの主の導きに深く感謝を持って散会した。(大阪聖愛教会・連合男子会)

新コーナー 「語り場」に寄せて

司祭 バルナバ 小林 聡

次号より、「語り場」のコーナーが始まります。「語り場」は、毎回、執筆頂く方に、ご自身が大切にしておられる教会や教区のあるべき姿、またビジョンを自由に語って頂く場です。

一昨年よりこのような「語り場」を教区会後や、主教巡牧に併せて各教会でも開催し

てまいりました。またそこで出されたご意見を、大阪教区ホームページにも掲載し、広く共有してまいりました。このように思いを分かち合い、耳を傾け合うことは、常々磯主教が語っておられる「聴く」という宣教の働きであり、宣教協議会からの呼びかけに、各教会に原稿依頼をさせて頂きますのでどうぞよろしくお願いいたします。(常置委員長)

公 示

教主降生 2024年2月5日

日本聖公会大阪教区 教区主教 主教 アンデレ 磯 晴久

日本聖公会大阪教区第132(臨時)教区会を、下記のように招集します。

記

◆日時 2024年3月17日(主日) 午後3時から午後5時

◆議場 日本聖公会大阪教区主教座聖堂(川口基督教会) 大阪市西区川口1丁目3番8号

なお、上記教区会の書記を下記のように指名します。

書記 司祭 ステパノ 柳 時京
書記 司祭 テモテ 内田 望
書記 司祭 ペテロ 金山 将司

以上



キッズフェスティバル 2024

～イエスさまと一緒に～

弟子たちは近寄って起こし、「主よ、助けてください。おぼれそうです」と言った。(マタイ 8:25)

日時：4月29日(月・祝) 10:30 オープニング (10:00 受付～ 15:00 頃 解散)

会場：川口基督教会



教会遠足第4弾 守口オーガスティン教会

聖三教会信徒 カタリナ 大西 暖子



教会から子どもたちへのプレゼント

大阪教区生涯学習委員会(子どもプロジェクト)が教区100周年記念事業として企画した「教会遠足」は、2024年度も継続し、子どもからすべての世代までが関わりながら、信仰や宣教が100年を超えて次の世代へつながることを目指しています。

第4弾の教会遠足1月21日(日)に参加しました。参加者は子ども15人、大人17人です。木の温もりを感じる礼拝堂に入り、座った途端に「お香のにおいする!」と話している子どもたち。五感で礼拝を体験し、興味を持ったようです。私はスパイシーな香りを感しました。(乳香の香りで迎えてくださいました。)説教では「人間をとる漁師にしよう」という箇所の英語「Follow me」という言葉から「ついておいで、一緒に行

こう」というイメージを子どものために話してくださいました。

昼食後、みんなで賛美し、紙芝居で「人間をとる漁師」のお話を分かち合いました。小学生グループ(幼児、乳児合同)は「魚けん玉」作りと折り紙(魚)をして、楽しい時間を過ごしました。帰宅後も息子はけん玉で遊んでいました。中高生・大学生・青年は別室で義平司祭と分かち合いの続きをしました。「ものすごく楽しかった」と、中高生が帰宅後今日あったことを色々と話したようです。「神様に見守られて、よき恵みの時間を過ごすことが出来て感謝です」と保護者の方から感想を頂きました。温かく迎えてくださった守口オーガスティン教会の皆様感謝の気持ちでいっぱいです。行ったことのない教会に行つて礼拝にあずかることは新しい発見がたくさんあり他の方にも是非体験してもらいたいと思います。目指せ大阪教区全教会訪問です。

2024年度 大阪教区 諸委員一覧(敬称略)

2023年12月19日、教区常置委員会承認

★教区主教

主教 磯晴久

★常置委員

司祭 小林聡(長)

司祭 千松清美(書記)

司祭 義平雅夫

寒河江研司(三一)

加納佳世子(アンデレ)

太田幸彦(ルシヤ)

★総会代議員

司祭 千松清美

司祭 古澤秀利

寒河江研司(三一)

太田幸彦(ルシヤ)

★会計検査委員

春名英夫(マタイ)

山本多津子(マルコ)

■総務局

局長 司祭 柳時京

☆法制委員会

司祭 松平功(長)

金山将司 小出裕司(アンデレ)

春名英夫(マタイ)

米満司郎(ミカエル)

☆歴史編集委員会

司祭 韓相敦(長、3月まで)

田哲夫(アンデレ)

加納佳世子(アンデレ)

鈴木憲二(ステパノ) 《協力委員》

☆社会宣教委員会

司祭 小林聡 司祭 古澤秀利

司祭 成岡宏晃 田中廉(トマス)

社会奉仕部門

司祭 内田望 山本久美

(聖愛) 中尾由紀子(マリヤ)

井上るみ子(マルコ)

☆在日韓国・朝鮮人宣教協働委員会

司祭 小林聡 司祭 ウィルソン

ウイロン ウォーレン 司祭 原田光雄

司祭 金山将司 司祭 金頭昇

加納佳世子(アンデレ)

眞子義人(三一)

丹田則史(ガブリエル)

浅海由里恵(川口)

《協力委員》 吳光現

(聖公会生涯センター)

☆生涯学習委員会

司祭 千松清美(長)

司祭 成岡宏晃 司祭 金山将司

司祭 ヒューム ユーワン 齋藤みち(トマス)

内海紗英子(川口)

小野田富美子(長・アンデレ)

司祭 内田望 司祭 柳時京

司祭 ヒューム ユーワン

内海由美子(川口)

辻彩乃(川口)

齋藤みち(トマス)

梶本愛(三一)

高木弘子(ヨハネ)

《協力委員》 高島幸二(聖愛)

江研司(三一) 《陪席》 太田幸彦(教区事務所)

☆大阪教区英語礼拝

司祭 ウイルソン ウォーレン

■財政局

局長 寒河江研司(三二)

★財務委員会

司祭 千松清美 司祭 金山将司 太田幸彦(ルシヤ) 糟谷茂(守口) 名出正(川口) 服部喜代司(トマス) 西原素直(守口) 中尾由紀子(マリヤ) 《陪席・司祭 柳時京(総務局長)》

■諸委員

★聖職試験委員会

司祭 松平功(長 教会史・教理) 司祭 原田光雄(宣教・牧会) 司祭 ウイルソン ウォーレン(旧約聖書) 司祭 内田望(礼拝) 司祭 義平雅夫(新約) 鈴木光子(ステパノ) 田尻忠邦(ヨハネ)

★聖職養成委員会

司祭 千松清美(長) 司祭 内田望 司祭 義平雅夫 増山悦子(川口) 井上恵美子(マリヤ)

★牧会支援委員会

豊川雅章(長・聖愛) 久保義道(ミカエル) 篠田茜(贖主) 早川文字(トマス) 原植寿子(トマス) 松原恵美子(テモテ) 《協力委員・司祭 小林聡》

★主教座聖堂参事会

司祭 柳時京(長) 司祭

内田望 司祭 古澤秀利 鈴木憲二(ステパノ) 高橋明子(川口) 小野田芳大(アンデレ)

★教区審判廷審判員(任期4年・2024年の定期教区会終了まで)

主 教 磯 晴 久 (長) 司 祭 内 田 望 司 祭 原 田 光 雄 石 田 美 郎 (聖 愛) 井 上 美 津 (マタイ) 佐 野 信 三 (マルコ) 畑 野 め ぐ み (マルコ) 吉 岡 康 博 (ミカエル)

★神学生後援会常任理事(任期3年・2025年まで)

主 教 磯 晴 久 司 祭 ヒ ャ ヲ ム ユーワン 司 祭 柳 時 京 (総 務 局 長) 寒 河 江 研 司 (三二) 松 本 愛 子 (パウロ) 井 上 恵 美 子 (マリヤ 聖 職 養 成 委 員)

★管区連携の担当者

・青年司祭 金山将司
・正義と平和司祭 古澤秀利

★大宗連

主 教 磯 晴 久 太 田 幸 彦 (教 区 事 務 所)

★災害対策本部担当者

司 祭 柳 時 京 太 田 幸 彦 (教 区 事 務 所)

★オンライン宣教委員会

司 祭 古 澤 秀 利 (長) 司 祭 小 林 聡 司 祭 成 岡 宏 晃 梶 本 愛 (三二) 吉 井 薫 (三二) 《協 力 委 員 ・ 執 事 田 宮 絃》

★中日本協働委員

主 教 磯 晴 久 司 祭 小 林 聡 太 田 幸 彦 (ルシヤ)

★大阪教区成立100年準備委員会(3月まで)

主 教 磯 晴 久 (委 員 長) 司 祭 柳 時 京 (副 委 員 長) 太 田 幸 彦 (総 務) 司 祭 成 岡 宏 晃 (式 典 長) 司 祭 内 田 望 司 祭 古 澤 秀 利 鈴木 憲 二 (ステパノ) 寒 河 江 研 司 (三二) 鈴木 久 美 子 (マタイ) 鈴木 光子 (ステパノ) 司 祭 小 林 聡 辻 節 子 (トマス) 《協 力 委 員 ・ 西 口 忠》

■諸団体

★教区婦人会

会 長 鈴木 久 美 子 (マタイ、5月まで)

★連合男子会

会 長 寒 河 江 研 司 (三二) 司 祭 義 平 雅 夫

★教区GFS

会 長 岡 崎 敬 子 (三二) 司 祭 千 松 清 美

★教役者会幹事

司 祭 義 平 雅 夫 司 祭 古 澤 秀 利 司 祭 ヒ ャ ヲ ム ユーワン

★聖公会生野センター大阪教区後援会常任委員

主 教 磯 晴 久 (長) 鈴木 憲 二 (ステパノ) 丹 田 則 史 (ガブリエル) 服 部 喜 代 司 (トマス) 松 原 恵 美

子(テモテ) 呉光現(総主事)

★大阪キリスト教連合会 代議員(代表以外任期2年2024年5月まで)

主 教 磯 晴 久 (代 表) 司 祭 成 岡 宏 晃 司 祭 原 田 光 雄 小 出 裕 司 (アンデレ)



【常置委員会報告】12/19第2回例

I. 主教報告及び諸報告

・YouTubeの動画「主日のみ言葉と祈り」の配信は、2023年クリスマスで終了する。
・総務局長内田望司祭から柳時京司祭に引き継ぎがなされ、総務局長補佐の辻節子さんは役割を終えた。
・宮本憲さんは横浜教区に転籍したため、今後の神学生奨学金の返済方法を確認する。
・教区成立100周年記念事業準備委員会は3月の臨時教区会をもって解散となる。
・特別財産運営準備委員会として、磯晴久主教、寒河江研司さん、太田幸彦さんを委員とし準備する。

II. 協議事項と主教諮問

・教区一元化手続き費用について確認した。
・2024年度信徒奉事者推薦書をすべて承認した。
・定期教区会において「牧会献金」を継続する件を常置委員会の決議決定とする指摘を受けた。

け、財務委員会を経て、常置委員会で承認した。
・2024年度大阪教区諸委員一覧表を確認し、すべて承認した。

*エスター・マクストン神学生の今後のあり方について報告があった。

【常置委員会報告】1/12第3回例

I. 主教報告及び諸報告

・日本聖公会宣教協議会の呼びかけ文(清里コール)が完成し、参加者対象の報告会をオンラインで行い、その後全教会に提示される。
・2月6日(火)〜8日(木)主教会が、沖縄教区名護市にて開催される。
・3月1日(金) 世界祈祷日(川口基督教会)の説教者は磯晴久主教が担当する。
・総務局長柳時京司祭は毎週火曜日に教区事務所に出勤する。
・義平雅夫司祭より、守口ぶどうのいへの現状共有がなされた。

II. 協議事項と主教諮問

・能登半島地震による教区間、施設間での支援を今後検討することが提示された。
・定期教区会議事録の確認をし、修正箇所の提示をした。
・教区の今後について協議した。
・臨時教区会の日程を3月17日(日)午後3時開始(主教座聖堂)と決定した。教区会終了後、懇談会を開催することとした。
・人事に関する主教諮問を受けた。

大阪教区関係教役者レクイエム

毎月第2水曜日 川口基督教会
3月13日(水) 10:30~

教話 聖職候補生ステラミシエル大倉有紀

- 1日 執事 ペテロ 井上 榮 (1966)
3日 司祭 フレッド・ケトルウエル (1952英)
7日 主教 アブラハム 植松 従爾 (2017)
8日 主教 ヤコブ 宇野 徹 (2022)
10日 伝道師 南 民子 (1961)
15日 司祭 山崎 貞一 (1951)
16日 伝道師 イサク 宗篠 和雄 (2013)
17日 宣教師 フローレンス・エリザベス・ガーディナー (1970英)
主教 クリストファー 木川田 一郎 (2015)
20日 宣教師 リーラ・ブル (1924米)
司祭 パウロ 安倍 騰 (1945)
21日 主教 ヒュー・ジェームズ・フォス (1932英)
22日 司祭 オリヴァー・ヘイワード・ナイト (1969英)
司祭 ヨハネ 山根 貞夫 (2018)
23日 伝道師 ハンナ 田中 花子 (1983)
24日 宣教師 メアリー・ダブルディ・ウッド (1891英)
伝道師 林 歌子 (1946)
宣教師 ノーラ・フレデリカ・ジェニー・ボウマン (1965英)
伝道師 姉川 鶯声 (1989)
26日 司祭 岸本 隆一 (1953)
司祭 ステパノ 東海林 定一 (1993)
28日 司祭 伊藤 堅逸 (1967)

4月10日(水) 10:30~

説教者: ヨハネ 古澤 秀利

- 1日 執事 中西 義之 (1909)
4日 主教 ジョン・マキム (1936米)
6日 司祭 ミカエル 村岡 明 (2019)
7日 司祭 ジョージ・ウイリアム・ローリングス (1933英)
司祭 名出 武 (1945)
15日 伝道師 織間 小太郎 (1934)
司祭 ベニヤミン 池沢 駿太郎 (1956)
司祭 ペテロ 藪本 竹次 (1979)
司祭 ジョン・キャメロン・マクドナルド (1993加)
17日 司祭 パウロ 藤倉 恒雄 (2001)
20日 宣教師 メアリー・ジェーン・オクスラッド (1922英)
司祭 ステパノ 井上 俊一 (1983)
21日 宣教師 エレノア・メアリー・フォス (2002英)
23日 司祭 早川 喜四郎 (1943)
司祭 アントニオ 鄭 淵優 (2023韓)
28日 主教 ジョン・チャールズ・マン (1967英)

【局長】【会】【議】【報】【告】
12/7 第7回

【宣教局】

*春のJ'sキャンペーンについて各教役者へ案内を送信予定。
*宣教協議会の動画を編集集中。

【財政局】

*教役者給与規定および職員給与規定改定について少人数のチームで検討する。
*教区会での教区予算案が承認された。

*管区の財政担当者連絡会議に寒河江財政局長と太田主事が出席した。

【総務局】

*来年度の各委員会体制を確認中。

【宣教局】

*ビジョンチームから2月中旬にビジョン案を提示予定。
*プネウマの集い 2/18(日)

14・00 尼崎聖ステパノ教会、3/24(日)西宮聖ペテロ教会

*キッズフェスティバル 4/29(月)川口基督教会

【財政局】

*ハラスメント防止委員会(管区:2/23(金)、春の黙想会(2/12(月)尼崎聖ステパノ教会)への費用負担を了承。

【総務局】

*能登半島地震支援について、3/10(日)信施を支援金とする。

1/26 第1回

*教区礼拝について、9/23(月)予定として会場を確認する。
*「特別財産運営準備委員会」の名称を「事業委員会」とし、メンバー5名で検討を始める。

逝去者

- 堺聖テモテ教会
竹中 きみゑ (11月20日・75歳)
大阪聖アンデレ教会
アンナ 北原 朝江 (11月24日・73歳)
大阪聖ヨハネ教会
ペテロ 西村 正則 (1月12日・82歳)

石橋聖トマス教会

サムエル 大橋 武郎 (1月16日・92歳)

川口基督教会

ペテロ 坂口 一豊 (2023年1月20日・76歳)

ヨセフ 久保 保次 (11月23日・95歳)

ヒルダ 前川 華子 (1月29日・83歳)

大阪聖三一教会

ヨハネ 山口 善彦 (1月19日・85歳)

聖贖主教会

ダニエル 小野 光雄 (12月3日・95歳)

魂の平安をお祈りします

お詫びと訂正

○516号

2頁2段目

松山龍二 ルビ

(誤) まつやま りゅうじ

(正) まつやま たつじ

4頁3段目

次点に総会代議員加納佳世子

5頁4段目

執筆者 (誤) 小野田富美子 (正) 小林 まりこ

お詫びして、訂正いたします。